

□ サッカーのルール

【フリーキックの種類】

1 直接フリーキックとなる反則

- ① **キッキング** 相手を蹴る、または蹴ろうとする。
- ② **トリッピング** 相手の足をつまづかせる、またはつまづかせようとする。ドリブルをしている選手に対して背後から故意にトリッピングを行った場合は非常に悪質なファウルと判断され、レッドカードを出される場合もあります。
- ③ **ジャンピングアット** 相手に飛びかかる。体の接触が激しく、怪我にもつながりやすいファウルのため、非常に危ないプレーです。
- ④ **ファウルチャージ** 相手を不用意に、無謀に、過剰な力でチャージする。ファウルチャージとは、乱暴な行為で相手選手のバランスを崩す反則です。しかし、同じバランスを崩す行為でも、ボールを持っている選手に対して肩を使ってバランスを崩すことは正統なプレーとして認められています。肩以外を使用したり、乱暴である、悪質であると審判が判断された場合はファウルチャージが取られます。
- ⑤ **ストライキング** 相手を殴る、または殴ろうとする。殴るだけでなく、肘を相手にぶつけにいった場合もストライキングのファウルが取られます。
- ⑥ **プッシング** 手や足、身体を使って押す行為は全てプッシングとみなされます。
- ⑦ **ファールタックル** ボールを奪うために相手にタックルし、ボールに触れる前に相手に接触する。
- ⑧ **ホールディング** ホールディングとは相手の身体やユニフォームを掴んだり、引っ張ったり押さえたりすることによって不当に動きを制限する行為に対する反則です。
- ⑨ **スピitting** 相手につばを吐きかける。身体接触の危険性というよりは、スポーツマンシップに反するということから反則が取られます。あまりにも悪質な場合はレッドカードを審判に出される場合もあります。
- ⑩ **ハンドリング** ハンドリングとは選手が故意に手や腕でボールに触れる反則です。選手が故意に手や腕をぶつけたかどうかは選手の動きや位置、ボールとの距離などを考慮して判断が下されます。

2 警告（イエローカード）となる行動

■ 警告（イエローカード）となる行動

- ・反スポーツ的行為
- ・言葉または行動（ふるまい）で審判に異議を示す
- ・繰り返し規則違反をする
- ・プレーの再開を遅らせる（遅延行為）
- ・コーナーキック、フリーキックの時 8 m（9.15m）離れない
- ・主審の許可を得ずフィールドに入ったり出たりする

3 退場（レッドカード）となる行動

- ・著しく不正なプレー
- ・乱暴な行為
- ・相手プレーヤーや、その他の人につばを吐く
- ・同じ試合で2つの警告を受ける
- ・攻撃的、侮辱的で下品な発言や行動をする
- ・相手チームの決定的な得点の機会を阻止する